

平成25年度日本小児保健協会 小児救急電話相談スキルアップ研修会（第1報）

現在47都道府県で実施されている小児救急電話相談（#8000）事業等の小児救急に関する電話相談は、休日・夜間の急な病気等の際の相談窓口として役立てられています。受療行動や家庭での対処法のアドバイスに加え、保護者への安心の提供がこの電話相談の持つ社会的な役割です。電話相談は、電話を介した相談者と対面しない方法で行う援助であり、相談対応者には特殊なコミュニケーション技術が求められます。

当協会では、小児救急の電話相談の役割の理解と相談技術の向上を目的に研修会を開催します。

公益社団法人 日本小児保健協会 会長 岡田 知雄
同 小児救急の社会的サポートに関する委員会 委員長 山崎 嘉久

主催：日本小児保健協会

参加資格：小児救急の電話相談に関係する看護師・助産師・保健師・医師など
電話相談の経験は問いません。日本小児保健協会会員以外の方も参加できます。

【基礎コース】

日時：平成25年9月26日（木） 13：00～17：00（日本小児保健協会第60回学術集会開催時）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター <http://nyc.niye.go.jp/>
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 電話 03-3469-2525

定員：100名

講師：福井 聖子（大阪小児科医会）、小児救急の社会的サポートに関する委員会委員ほか

内容：小児救急の電話相談の社会的な意義や相談スキル、受療行動へのアドバイスとともに相談者に安心を与える
電話対応のあり方などの理解を目的とした講義、演習、グループワークなど

参加費：1,000円（テキスト代を含む）

【実践コース】

日時：1日目 平成25年11月23日（土・祝） 13時～18時頃

2日目 平成25年11月24日（日） 9時～16時頃

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター <http://nyc.niye.go.jp/>
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 電話 03-3469-2525

定員：30名。ただし基礎コース受講が参加条件。

※過去年度の基礎コース終了者も、本年度の実践コースに参加いただけます。

講師：大西 文子（日本赤十字豊田看護大学看護学部）

鎌田 博司（上尾中央総合病院）

小迫 幸恵（山口県立大学看護栄養学部看護学科）

白石 裕子（日本看護協会看護研修学校）

福井 聖子（大阪小児科医会）

小児救急の社会的サポートに関する委員会委員ほか

内容：自らの電話対応の傾向を理解し、相談者をエンパワメントする相談技法の向上などを目指すためのSP（模擬相談者）を用いた電話相談実技、グループワークによる討論、講義など

参加費：15,000円

講習会修了証：受講者には日本小児保健協会が発行する講習会修了証が交付されます。

※ 募集については、小児保健研究第72巻第3号に掲載させていただく予定です。